

事業名	和楽器演奏会・和楽器体験等の交流で地域活性化事業
事業主体 (連絡先)	神楽組 090-7044-2553
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,029,354円 (うち支援金: 1,609,000円)

### 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

#### 事業内容

6月～10月まで、ほぼ毎週月曜日と水曜日の19時30分～20時30分まで、妻籠ふれあい館で公開練習をし、民宿に宿泊して頂いた観光客に来て頂き、和楽器体験等も交えて交流をしました。多い時は40名程来て頂きました。

メンバー参加者 (平均) 月曜日5名 水曜日4名  
その他の活動として、地元保育園やデイサービス、宅老所等への出張演奏もしました。



【 ふれあい 】

【目標・ねらい】

- ① 観光客に楽しんで頂く
- ② 自分のスキルアップに繋げる
- ③ 和楽器の魅力を共有する
- ④ 地域の子供が和楽器に興味をもってくれた

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 民宿の経営者の方に公開練習の宣伝をして頂き、毎回たくさんの宿泊客等に来て頂きました。演奏を聴いて頂き、演奏の体験等もしてもらい、楽しんで頂きました。
- ② 毎回、演奏を聴いて頂き、それを繰り返していくことで、演奏の上達に繋がりました。
- ③ 観光客(外国人)にも演奏する地元のメンバーにも参加することで和楽器の素晴らしさを共有することができた。
- ④ 演奏を見に来た方が新しくメンバーに加わりました。

#### ※自己評価 【 B 】

##### 【理由】

民宿の経営者達にお聞きしたところ、すごく好評で喜んで帰って来るといふことで観光の満足度に貢献できた。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

地元地域での新しいイベントづくりをして行きたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)